

第8回(2017年度)助成研究成果表彰 表彰式・受賞記念講演会

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に与えられるもので、本年度も14名の応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、5月30日開催の第28回通常理事会において3名の方の受賞が決定いたしました。

10月20日に鉄鋼会館において表彰式ならびに受賞記念講演会が行われました。当日は鈴木理事長の挨拶、岡田技術委員長の見解の後、理事長よりステンレス製の表彰状と副賞が受賞者に授与され、引き続き受賞者による受賞記念講演が行われました。

【各賞の受賞者】

1. 理事長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	高岡 昌輝	所属	京都大学大学院地球環境学学・教授
助成研究期間	2年間 : 2012年11月～2014年10月		
研究テーマ	固定排出源における水銀挙動調査及び新規水銀吸着材の開発		
研究成果	氏は、廃棄物焼却施設における水銀対策として、活性炭吸着法の高性能化に向け、排ガス処理装置前後の水銀挙動を調査、解明した。さらに、ハロゲンおよび硫黄を担持した新たな活性炭吸着材を開発し、従来よりも極めて高い水銀吸着能を確認した。水俣条約の発効間近であり、水銀の大気拡散を防止し、国内外の環境保全に大きな貢献をする研究成果として評価した。		

2. 技術委員長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。		
氏名	荻 崇	所属	広島大学大学院工学研究院・准教授
助成研究期間	2年間 : 2012年11月～2014年10月		
研究テーマ	鉄還元細菌を活用した重金属イオンの選択的分離回収に関する基礎的研究		
研究成果	氏は、鉄還元細菌を用いて金を選択的に還元・析出可能なこと、大腸菌を用いてタングステン分を分離回収可能なことを基礎研究から明らかにした。工業排水等からの貴金属を含む微量重金属の高効率回収はリサイクル社会に重要な技術であり、新分野へのチャレンジ精神と金属の捕集機序についての科学的解析などの論理的考察から実用化に近づけた成果を評価した。		

3. 鉄鋼技術賞

賞の性格	鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	菊本 統	所属	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院・准教授
助成研究期間	3年間 : 2013年11月～2016年10月		
研究テーマ	鉄鋼スラグの水硬性を活かした粘り強い土構造物の研究		
研究成果	氏は、軽量盛土材などの土木構造物に用いた場合の高炉水砕スラグの水硬性発現機構を微視的視点から検討し、さらに水硬性発現による剛性・強度の増加効果を明らかにした。これを土質に適用した鉄鋼スラグの構成モデルを開発し、高炉水砕スラグを用いた土構造物の設計・施工指針まで検討した。今後の用途拡大に寄与し得る大きな成果を評価した。		

【 表彰式ならびに記念講演会の様子 】



表彰式記念撮影

(左から、鈴木理事長・荻准教授・高岡教授・菊本准教授・岡田技術委員長)



【理事長賞】高岡昌輝 京都大学教授



【技術委員長賞】荻崇 広島大学准教授



【鉄鋼技術賞】菊本統 横浜国立大学准教授



記念講演会 聴講風景